

今週のフレーズ&ワード

a glimmer of hope

～かすかな希望の光～

「グローバル人材」を私なりに解釈すると「世界のどこでも一目置かれる人材」。かみ砕くと「多様な属性や異なる価値観の人たちの意見を聞き、自分で考え抜き、周りが納得する答えを出しながら物事を前に進めていく人材」。英語などの外国語は、そのツール（道具）という位置づけですね。しょせんツールとはいえ、いい道具を持てば間違いなく世界は広がります。そして、バーチャルな世界が大きくなるほど、仕事以外の雑談で相手との心理的な距離を縮めていくことが重要になってくるのではないのでしょうか。

2020 was a tough year, but there is a glimmer of hope on the horizon.
2020 年は厳しい一年でしたが、この先にはかすかな希望の光が見えます。

a glimmer of hope (かすかな希望の光) というフレーズです。glimmer は「かすかな光、微光」。the first glimmer of dawn といえば、夜明けに地平線がうっすら明るくなり始める状況。転じて「かすかな兆候」という意味で使われます。on the horizon (地平線上に) は「近い将来」という意味です。

次は、glimmer に some (いくらかの、多少の) がついた言い回しです。希望が faint (ほんのわずか) な場合は a faint glimmer of hope のように使うこともできます。

We're seeing the first glimmer of hope in that hardest-hit region.
最も打撃を受けた地域で、最初の希望の光が見られます。

次の例文 a glimmer of optimism (かすかな楽観主義の光・明るい兆し) のように、glimmer は hope 以外の名詞につくこともあります。

We were devastated to hear the news, but we start to see a small glimmer of optimism.
そのニュースを聞いて大きなショックを受けましたが、ほんの少しの明るい兆しが見え始めています。

さて、100 の実用的な表現を紹介してきた本連載は今回が最終回。テーマに据えた「雑談力」アップには単語やフレーズを覚えることに加え、トピックスの引き出しを地道に増やすことも大切です。一方、詳しくないテーマでも相手への質問で話を盛り上げることが可能です。最も大切なのは、相手との会話を楽しむ姿勢ではないのでしょうか。ご愛読ありがとうございました。

単語・熟語チェック

- | | | | |
|---|---------------|--------------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> on the horizon | 近い将来、～の兆しが見えて | <input type="checkbox"/> hardest-hit | 最も打撃を受けた |
| <input type="checkbox"/> be devastated | ショックを受ける | <input type="checkbox"/> optimism | 楽観主義 |